

組合と組合員の連携による 事業継続計画(BCP)を策定

甲府市管工事協同組合(齊藤鉄也理事長 組合員52社)では、組合員と組合の事業継続を目的として事業継続計画(BCP)の講習会を1月13日に開催した。

組合は、甲府市の上水道の維持を共同受注し市民のライフラインを守る重責を担っている。大規模



講師 佐藤雅信氏

災害が発生し水の供給が止まってしまった場合、組合は甲府市との「災害応急復旧工事等に関する業務協定」に基づき、人員を確保し設備・資材を提供して復旧工事にいち早く取り組むこととなっている。し

かし、組合員事業所も被災により復旧業務に携われない事態になる可能性もあるため、組合と組合員が災害時の事業復旧方法をあらかじめ決めておく必要があるとして、昨年9月から11月にかけて、5回に渡り「事業承継・事業継続アドバイザー」の佐藤雅信氏の指導を受けBCP策定に取り組んできた。指導の中では事業継続に必要な経営資源や業務の洗い出しを行う「事業の棚卸」を中心に計画策定の具体的な手順や考え方を学び、実効性の高い計画とするための演習も行い、計画の見直しを行った。今回の講習会はその集大成として、組合で策定した計画の骨子の説明と各組合員企業による策定取り組みについて理解を深めるために開催した。

齊藤理事長は「組合と組合員が協力し、行政と市民の期待に応えてライフラインの早期復旧が行える体制を整えることで、組合及び組合員が市民生活の

● 甲府市管工事協同組合

TOPICS



組合員の永続的な事業継続に必要な考え方を学んだ

維持に無くてはならない存在であることを理解してもらえ、組合の共同事業や組合員の業務の信用力も

アップにつながるため、組合員が永続的に事業を続けるためにも必要な取り組みである。」と語った。

BCP策定は、災害への対応策だけではなく、組合員同士が経営資源を補完し事業継続のための経営力強化にもつながることから、組合の新たな共同事業としても注目されている。組合としてのBCP策定に関するご質問・ご相談は、中央会連携組織課まで。